

寺報 佛心

第52号

日輪山 長久寺

【発行所】
岩国市美和町生見八一七
電話 〇八二七（九六）〇九八二
FAX 〇八二七（九六）〇九八二
発行人 三上宗順

秋季大法要並説教

十一月二十六日(日曜)

午後二時から

大般若祈祷会

説教

説教師 久保俊道師

山口市 普門寺(臨濟宗)

ご先祖のご供養と秋の実りに感謝し、病氣平癒・家内安全・健康長寿等の諸願成就諸縁吉祥を願い祈る大法要です。



ご近所お誘い合せの上お参りください。

般若札を差し上げます。



尚、古い般若札はお参りの時に持参されれば、年末にお焚き上げ供養を致します。

写経会へのお誘い

写経会を毎月18日に9時から行っています。長久寺での写経は、般若心経の写経用紙にうつすら書かれた276文字を、一字一字に雑念を払い集中しなぞる方法です。ど

なたでも簡単に始められます。

写経は、脳の血流を促し活性化させることが科学的に実証され、加齢による脳の低下予防や認知症予防にも効果的と言われています。ぜひチャレンジしてみてください。



幸せになる方法 その6

幸せになる決定的な方法はありません。健康になる決定的な方法はありません。寿命を延ばす決定的な方法はありません。お金持ちになる決定的な方法はありません。出世する決定的な方法はありません。

ん。美人美男になる決定的な方法はありません。頭の良くなる決定的な方法はありません。ギャンブルに勝てる決定的な方法はありません。心を穏やかにする決定的な方法はありません。……云々。

それに幸せだと思ってもいつの間にか不幸に転じたり、健康だと思っても見えない病気が有ったり、これが最高と思っただけなのにそれ以上のものが有ったりします。

それに自分が明日も必ず生きていくとは誰も分からない。そうそれが人生、だから苦。しかしそれこそが真実だと仏教は言うのです。

私にとって幸せとは何？自らを律し万物に感謝しムダを省いた普段の暮しの中で自身に聞いてみる。何だか難しそうですが、答えはその日常に恐らく有ると思のです。

ウラナリのハナたれボウズ:

猛暑がそのまま続いていきましたが、10月に入りりやつと秋らしくなりました。

この頃春と秋が短く感じられ日本の独特の四季が崩れています。長くなった梅雨Ⅱ雨季を加えて五季にすればという説もあるそうで、何だか寂しいような気がします。

しかし雨季の早苗の風景といい、金色の垂れた稲穂の田圃は秋季そのもの。やはり葦原の瑞穂の国、日本国そのものの風景ですよ。五季もいんじゃないですか?!

10月に入ってもう一つ気になる新聞記事がありました。四日は「自殺」の増加。五日には一面に「いじめ」の増加。更に次の日には、三面トップに「小中高の暴力9万件超」の見出し。1万8985件の増、児童生徒同士の暴

力が7割とあります。不登校

も29万9048人は二割増。「いじめ」は小中高支援学校で68万1948件だそうです。

勿論「いじめ」は今に始まったことではないし、人間だけにあるとも思えません。

生き物の共通の遺伝子に刷り込まれた本能のようなもの。群れになればどうしても他人と自分を比べ、優位に立ちたがるのは動物的本能らしい。厄介なのは優越感を得るとドーパミンという快感の脳内物質が分泌されること。しかも一度この快感Ⅱスッキリ感を味わうとクセになる。優越感「地位を失いたくない」という不安や焦りを生むから、ますますエスカレートする。いやいやこれは文明の原動力でもあるのですけれど…。

経営の神様松下幸之助は「本能はエンジン、理性は舵」

と言ったそうです。

この理性とは脳ミソの「大脳新皮質」という部分の、それまでの知識や経験によってできたコントロール機能で、ゆっくり働くものらしいです。逆に生存・繁殖の欲求本能は、ご承知のとおりソツコウ働く。

アフリカ・サバンナのハイエナにも理性がある。ライオンが捕らえた獲物を腹いっぱい食べて去るまで、ハイエナは遠巻きにじつと待っている。よだれをたらしながらも本能的欲求の食欲をぐっと抑えて「我慢」、つまり飛び出せば食われるという理性がコントロールしているというのです。残念ながら日本人はこの手の我慢は難しい。飽食時代と言われて久しくフードロスが叫ばれても、この飽食の温湯から抜け出せないのですから。一般的に辛抱することを

「我慢」と言いますが、仏教的には「慢心」のこと。そして仏教は、欲や怒りなどを持つことなく困難や苦しみに耐えることのできる心の状態を「忍辱」と言います。「忍辱波羅蜜」という修行です。いずれにしても生まれつきの本能を、我慢で養う理性とか修行による忍辱で舵を取るというのはなかなか難しい。

であるなら、前途ある若者が「いじめ」で人生を狂わされ自殺に追い込まれた無念さを、わが事として真剣に想像してみる。これは他の動物にはない共感であり慈悲心なのです。な—んて大言壮語になったけど、理性が本能に勝った一句(詭人不知)を…。

実るほど頭を垂れる稲穂かな
本能に負けた一句…ウラナリの頭がたれてハナたれて腰が曲ってへソ曲がるかな…宗順